

86 誌上発表 『皇国名医伝（正編）』の版本について

吉岡 広記, 山田 恵美

日本鍼灸研究会

はじめに

『皇国名医伝（正編）』は、浅田宗伯（1815～1894）の著した日本の医家伝記資料である。すぐ目にするができるものに、影印本ではA『医家伝記資料』下巻所収本（内閣文庫蔵、青史社、1980年影印。以下、内閣本と称す）とB『近世漢方医学書集成』99巻所収本（矢数道明蔵、名著出版、1982年影印。以下、矢数本と称す）があり、電子版ではC国文学研究資料館所蔵本（電子資料館公開。請求番号ヤ9-176-1～3。以下、国文研本と称す）、D研医学会図書館所蔵本（国文研電子資料館公開。KNIK-00019）、E慶應大学図書館蔵本（函架番号16-51-4～6。以下、慶應本と称す）、F新潟大学図書館蔵本（古文書・古典籍コレクションデータベース。整理番号W5F/W16//1～3。以下、新潟本と称す）、Gベルリン州立図書館蔵本（整理番号448-047-01～03。デジタルアーカイブ公開。以下、独本と称す）がある。いずれも嘉永5年（1852）の宗伯の識語があることから、一見すると同一と思われるが、仔細に校勘すると異同がある。以下、異同を列記する（初印本と目されるA内閣本を基準として表記した）。

諸版本の校勘

序 ①光緒4年（明治11年〔1878〕）の大清欽差出使日本国大臣・張斯桂の序文（E。冒頭にあり）。

目録 ②01a05 曲直瀬寿命院（AC）→秦寿命院（BDEFG）。③02b03 村山自伯（A。書込修正されるも、恐らくもとは「上」）→村上自伯（BCDEFG。Cは書込するも「上」となるのみ）。

上巻 ④03b08 一名正球（注。AC）→一名正璆（BDEFG）。⑤04a07 曲直瀬寿命院（AC）→秦寿命院（BDEFG）。⑥04a08 曲直瀬宗巴（これより「郷人」の前まで。AC）→秦宗巴…（BDEFG）。⑦04b02～03 授以己／姓（AC）→妻以己／女（BDEFG）。⑧08a10 以父蔭（AC）→少知名（BDEFG）。⑨14b01～02 錦袋子是也／于京師…（下から5文字。AC）→一部欠損（「子是／于京」の箇所。BDEFG。版木の損傷と見られる）。⑩17a03 永田徳本（ABCF）→水田徳本（EG。版木の損傷と見られる）。⑪30a06～08 菅殺人（これより「就鉅豊」の前まで。AC）→不顧郷…（BDEFG）。

中巻 ⑫01b01 非葉（AC）→「非」の下の「三」点の擦れ（BDEFG。版木の摩滅か）。⑬16b04 草圃括要（AC）→葉圃擷余（BDEFG）。

下巻 ⑭33a06～09 金匱輯義…（多紀桂山の著書16書を挙げる。AC）→金匱玉函…（12書に減らされる。BDEFG）。

著述目録 ⑮栗園浅田先生著述目録（9部凡そ27巻を掲載。各書の略説有り。ABCF）→栗園先生著述目録（34部107巻を掲載。各書の冊数と既刻の有無のみを掲載。EG）

考察

以上より、まずACとBDEFGに大別できる。BDEFGは、ACには見られない版木の損傷や摩滅があることから、後に刷られたことは疑いない。したがって、②④⑤⑥⑦⑧⑩⑬⑭の修訂は、BDEFGに従うべきということになる。版木の劣化の程度は⑨⑫では同じであるが、⑩のみ異なっており、EGがBDFより後に刷られたことがわかる。①光緒4年の序文の有無と⑮著述目録の相違もその証左となる。なお、Eは『国書総目録』に「万延元〔1860〕版－慶大富士川」とある一本のことと見られることから、万延元年刊は誤認と思われる。

結語

本書の版本は、初印本のほかに補刻本が少なくとも2種あることが確認される。初印本と目されるのはA内閣本とC国文研本であり、修訂第一版はB矢数本とD研医学会本とF新潟本、修訂第二版はE慶應本とG独本となる。なお、補刻本の刊行年が推定できるのは、修訂第二版に限られる。